

会 議 録

(5-1)

会議の名称		令和5年度 第2回春日部市健康づくり推進審議会	
開催日時		令和5年7月26日（水）	開 会 午後1時30分
			閉 会 午後2時20分
開催場所		春日部市役所 全員協議会室	
議長(会長等)氏名		北畠 義典	
出席者	委員氏名	（出席人数：11人）	
		北畠義典、中村靖史、荒井秀雄、新藤るみ子、鈴木由美、	
		樋口京子、三ノ輪テル子、宮武佐治子、村田睦剛、渡部潤一、	
		坂牧光義	
	説明者 その他	（出席人数：3人）	
		健康課健康づくり担当課長兼保健センター所長 桑原隆	
		健康課健康づくり担当主幹 前田千恵	
	事務局	健康課健康づくり担当主査 篠原栄理子	
		（出席人数：4人）	
		健康保険部長 折原章哲	
健康保険部次長（兼）健康課長 松本英彦			
集計委託会社	健康課健康づくり担当 町田恵美		
	健康課健康づくり担当 井上裕子		
	サーベイリサーチセンター 石塚敦		
サーベイリサーチセンター 根本大補			
次第及び公開、一部公開、非公開の区分		議事（全て公開） 1 開会 2 会長あいさつ 3 会議の公開について 4 議事 「春日部市市民生活習慣実態調査」アンケート項目について 5 その他 6 閉会	

一部公開・非公開の場合はその理由	<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：
配布資料	資料1 春日部市健康づくり推進審議会委員名簿 資料2 春日部市市民生活習慣実態調査 資料3 前回（平成29年度）アンケート調査から変更したアンケートの設問（案）及び回答（案） 資料4 令和5年度 春日部市市民生活習慣実態調査（案） 乳幼児・小学生調査票 資料5 令和5年度 春日部市市民生活習慣実態調査（案） 中学生調査票 資料6 令和5年度 春日部市市民生活習慣実態調査（案） 15歳から18歳調査票 資料7 令和5年度 春日部市市民生活習慣実態調査（案） 一般市民調査票 追加資料1 春日部市市民生活習慣実態調査 WEB回答のご案内（案） 追加資料2 アンケート調査票の修正箇所
会議録の作製方法	<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録署名の指定	会長

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>1 開会</p> <p><配布資料説明> <出席者について></p>
会長	<p>2 会長あいさつ</p>
事務局	<p>3 会議の公開について 傍聴人 0名</p>
議長	<p>4 議事 「春日部市市民生活習慣実態調査」アンケート項目について事務局より説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p><資料2、資料3に基づき説明></p>
議長	<p>ただいまの説明に対して、質問、意見等あるか。</p>
委員	<p>この調査は春日部市民の何割の方に行うのか。 前回の小中学校の調査では、調査票が来た子と来ていない子があつたという意見を聞き、子ども同士で話題になった。 無作為抽出とわかるように案内しているのか。アンケート調査の表紙に、抽出方法についての記載をした方が良い。 小学生は、カウプ指数やローレル指数を出す際に、性別選択肢「答えたくない」であると、指数が出ないことはどう扱うのか。また、性の多様性で統計不能となっていることがあるが、遺伝学上の性を聞いていいのではないか。性別選択肢の「答えたくない」という回答があると、できなくなる統計があることは問題があるのではないかと、別の審議会でも話題になった。 歯科の歯周病検診は、市の検診なのか、自分で受けた健診なのか。行政健診なのか、自分で積極的に受診しているのかを、アンケート調査で把握し、行政サービスの利用状況をはっきりしてもいいのではないか。</p>
事務局	<p>春日部市民の約2.5%。 調査票の表紙や説明には書いていないが、小中学生のアンケートは今回学校を通じて配布する予定である。無作為抽出ではなく、全ての学校を対象とするのではなく、地域性を考慮して、学校と学年を選</p>

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	<p>び、偏りがないように実施する予定である。</p> <p>アンケート調査の表紙に、抽出方法についての記載をしていく。</p> <p>性別選択肢「答えたくない」については検討する。</p> <p>市の歯周病検診は、何人が受診したか等の情報は把握できているため、市民全体の歯科健診受診状況を把握したいと考えている。</p> <p>一般市民などの調査票の対象の無作為抽出方法はどのようにしているのか。</p>
事務局	<p>幼児保護者、15歳から18歳と一般市民は、住民基本台帳から無作為抽出をしていく。乳幼児健康診査受診者と幼児を重複しないように選んでいく。</p>
委員	<p>無作為で抽出しても保護者にご理解いただけないこともある。小学校・中学校は、集計結果や報告書に抽出の仕方を書いた方がよい。小学校は、特別なものでないことを記入してもいいのではないか。</p>
事務局	<p>小中学校については、先生がランダムに生徒を選んで渡すわけではなく、指定した学校の学年全員に調査をお願いしていく。分かりやすく誤解を招かないように周知していく。</p>
委員	<p>「サンプリングバイアスかからないように努力している」と調査票に記載したほうがいいのではないか。</p>
事務局	<p>透明性が重要なので、わかりやすくお知らせできればと考えている。</p>
委員	<p>資料7 6頁 問19 ○は一つだけは不要である。</p> <p>歯周病検診についての設問は、先出の質問と回答で納得した。</p> <p>「受動喫煙をする機会はどこですか」の設問文に違和感がある。前回調査の設問文に戻した方がよいのではないか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり修正していく。国の調査票に合わせて、再度設問文を戻すことを検討する。</p>
議長	<p>受動喫煙は、選択肢も前回の調査と同様の回答がよいと思う。</p>
委員	<p>資料7 8頁 問33は、受動喫煙の「自分の意思の関係なく」は、「医師」となっているため、誤植だと思う。</p>

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	ご指摘のあった修正箇所については、修正していく。
議長	他に意見や質問はあるか。
委員	<p>追加資料2 2頁の妊娠中の不安を取り除くためにあるとよいサービスに関する設問で前回調査の選択肢にあった「妊娠から子育てまでの切れ目のないサポート」を入れない理由はどうしてか。選択肢にあれば、妊産婦が切れ目のないサポートを受けているかどうか、この調査でわかると思う。「(妊産婦が切れ目のないサポートを)あればよかった。」と回答あれば、ぽっぽセンターの認識できておらず、サポートに繋がっていない場合も考えられ、ぽっぽセンターの周知を広くするという目標に繋がるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>平成30年から子育て世代包括支援センターを開設していて、基本的には切れ目のないサポートを行っているので、選択肢からは外した。</p> <p>委員の意見を反映して、選択肢を前回調査に戻す。</p>
議長	他に意見や質問はあるか。
委員	[質疑応答なし]
議長	<p>前回比較ができる同じ設問もあれば、今回新規の設問も入れている。このようなデータを元に計画を立てる、前回調査と比較し課題を見つけ、計画に活かし、解決に向けて動く所存である。</p> <p>委員の方からのご意見は持ち帰り、検討、反映していく。まとめ次第、改めて配布していく。</p>
事務局	<p>5 その他</p> <p>第3回目の春日部市健康づくり推進審議会は令和6年2月上旬を予定している。詳細は改めて通知していく。</p>
副会長	6 閉会挨拶
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違なきこと証するためここに署名する。</p> <p>令和 5年 9月 22日</p> <p>署名者の職・氏名 春日部市健康づくり推進審議会 会長 北畠 義典</p>	